



# 大型車のタイヤ脱落 70年で72倍!

## 95%が歩道に近い「左後輪」

先日、朝日新聞に大型トラックやバスのタイヤが走行中に外れる事故が後を絶たない。という記事が記載されていました。10年間で約12倍に急増し、昨年度は過去最多の131件。特に冬が多かった。外れるタイヤの95%は「左後輪」だ。歩道に近い側ばかりが外れる危険な状況だが、確たる理由はわかっていない。大型車のタイヤの重さは100キロ、直径1メートルにもなり、歩行者や周囲の車にぶつかれば命にも関わる。2002年には横浜市で、部品の欠陥によってトレーラーのタイヤが外れて母子3人が死傷する事故が起き、社会問題になった。それ以降、国土交通省が04年度から、8トン以上のトラックと定員30人以上のバスで起きたタイヤ脱落事故の集計を公表している。これによると、事故はいつたん減ったが、11年度(11件)を底に増加に転じ、昨年度は131件。人身事故はなかったものの、過去最多を更新した。直近4年間でも約2倍に急増した。発生は冬に集中。昨年度は3分の2が11月と2月の4カ月に起きた。地域別では東北43件と北海道19件で半数を占め、北信越18件、関東17件、中部、



中国各12件、近畿5件、九州3件、四国2件などと続いた。こういった傾向から、国交省は冬用タイヤへの交換作業に原因があるかとみている。交換の際のナットの締め付けが足りなかったり、100キロ程度走行後に再び締め付けを行う「増し締め」の作業を怠ったりしたことが脱落につながっている恐れがあるといる。ただ、冬用への交換は以前から行われており、近年の急増の理由として、これだけでは説明が付きづらい。国交省の担当者は「スリップ防止対策で融雪剤の散布が増えていることも一因では」と推測。融雪剤に含まれる塩化カルシウムでホイールなどの腐食が起き、結合部の緩みにつながる可能性があるという。組合員の皆さんも注意しましょう。

## くぼのおすすめ ご当地美味いもの ⑰

とうとう冬本番がやってきました。金沢は「これぞ北陸の冬」といった天候が続いています。青空が見えていたと思ったら一瞬で空は真っ暗になり雨・雪・あられ・みぞれが容赦なく降りかかってくるといったことが繰り返し起こる天気です。「弁当忘れても、傘忘れるな!」といった金沢の名言のとおりです。

このころになると「かぶら寿し」が食べたくなくなります。かぶら寿しといっても、お寿司ではありません。「塩漬けたかぶら」に「塩漬けた鰯」を挟み、米糍で漬けて込んで発酵させる、加賀百万石に古くから伝わる伝統的な発酵食品です。冬の時期だけしか食べられない高級食品です。県外の知人に珍しいだろうと贈答品にしたなら「糍を洗って食べた」なんてとんでもないことをした話がありました。

初めて見た人にはあり得ることなのかもしれません。絶対にそんなことしてはいけません。このちよつと甘いトロッとした糍(お店によつて違いがあります)と一緒に食すのがおいしいのです。

お正月には、かぶら寿しを食べるとよい年を迎えたいと思います。



【北陸ダンプ組合員数】 (人)

分会	先月 11/1時点	当月 12/1時点	増減
金沢	100	100	+1 -1
加南	43	43	+1 -1
高岡	17	17	
嶺北・福井	53	53	+1 -1
岐阜	18	18	
事務局他	18	18	
合計	249	249	0

### 『年末年始のご案内』

2021年もあと僅かになり、年末の挨拶をする時期となりました。組合員の皆さん、本年一年ありがとうございました。書記局の年末年始の休業期間は左記のとおりです。

12月30日(木)～1月4日(火)  
新年は1月5日(水)9:00  
より仕事始めとなります。

それでは皆さん、よいお年をお過ごし下さいませ。

急用の場合は、久保の携帯へ

080063509037